

○10月8日(日)開催

第3000回例会 兵庫県山岳連盟同調

自然観察山歩/新宮から本龍野へ

「新龍アルプスの自然を訪ねる」に参加して
布引支部 A.I

新龍アルプス?・・・一体どちら方面にあるの?
・・・頂いていた山岳連盟の自然観察山歩の案内を見ていて早くから興味を抱いていました。ネットで調べると「姫路から姫新線に乗り、播磨新宮駅で降りてそこから南の本龍野まで揖保川に沿って続いている西側の山並みを言う。約12キロの行程」と載っていたので、六甲山の半縦走よりは楽だろうなと気楽な気持ちで参加しました。

姫路までのJR山陽線で途中遮断機の事故があって7分ほど遅れるとの車内放送が有り、ヤキモキしましたが、姫新線の列車が待っていてくれて無事乗り継ぐことが出来ました。ところがNさんご夫婦が乗り遅れたのに気づき、携帯で連絡を取った結果、次の列車で来ることになりました。

(JR西日本さん最近遅延事故多すぎるのでは?)
駅の西口で集合し、出発時の朝礼を行いました。



のどかな田園風景をゆっくり歩く



前方山並みの右は祇園嶽ピーク

吉野ヒヨコ会長のご挨拶の中で今回のコース案内をして下さる山岳連盟はりま支部の役員さん2名とサポート役の3名の方が紹介され、神戸から参

加した30名に加え一般参加3名の総勢38名です!・・・10時30分出発。好天に恵まれたのどかな田園風景を楽しみながら山並みの東側からの取付点「水布弥登山口」を目指しました。最初のピークは新龍アルプス最北端の「祇園嶽(340M)」。



水布弥登山口と祇園嶽の標識



水布弥コースを登る参加者

低山なので40分もあれば登れるだろうと軽く考えていましたが、シダやウラボシが生い茂るコースは、山肌が崩れている箇所などが有り、足元も悪く、思ったより時間がかかりました。

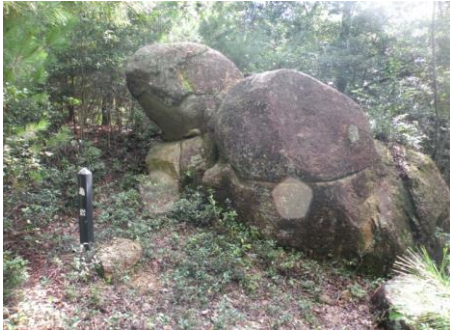
尾根に出るとはっきりとした登山道となり、30分程で、**供養碑**や**蛙岩**、**亀岩**などの奇岩が点在し



大きな目印となる供養碑



(蛙岩/あまり蛙には見えないが・・・)



(亀岩/こちらは亀の姿でした！)

ている場所を通過。そこから少し入った所が、昼食場所となった亀の池でした。この場所は池巡りの北コースや南コースがあり、西側からの登山道も通じている場所で、他の登山者グループも昼食休憩をしていました。20分程の食事休憩の後、出発。ここからは山陽自然歩道の表示のある登山道となり、新龍アルプスの最高峰「亀山(城山・458M)」までの登りとなります。



明るい日差しに心も軽く！



383M のピークにある四等三角点

「ここまでが本日の予定コースの約半分です！」と聞いて、少し驚くと同時に頑張らねば！・・・と気を引き締めました。城跡表示を過ぎてから高圧線のある場所までは可成り下って、又、登り返さねばなりませんでした。しかし、尾根筋を行くルートは左右共徐々に展望が良くなり、アップダウンで疲れていた心身を癒してくれました。・・・

出発が予定より30分程遅くなったので、最後の「鶏籠山(けいろうさん・218M)」には寄らず、「的場山(394M)」で記念撮影し下山しました。

思っていたよりも結構ハードで変化に富んだ楽しい山行きでした。お世話下さった各役員の皆様へ感謝です。有難うございました。



的場山にて記念撮影

天 候 晴れ

担 当 例会・自然保護委員会

兵庫県山岳連盟はりま支部

参加者 38名